愛知東邦大学　シラバス

開講年度(Year)	2025年度	開講期(Semester)	後期
授業科目名(Course name)	専門演習Ⅳ		
担当者(Instructors)	Tran ThiTuyetNhung	配当年次(Dividend year)	4
単位数(Credits)	2	必修・選択(Required / selection)	必修

■授業の目的と概要(Course purpose/outline)

専門演習Ⅱでは、専門演習Ⅰで設定した研究テーマに対してデータ収集、分析、及び考察を行う。研究スキルを身に付け、論文の作成及び発表を行う。3年後期末に「8,000文字」の論文を執筆し、4年は「16,000～30,000文字」の卒業論文を目指す。

■授業形態・授業の方法(Class form)

授業形態(Class form)	演習
授業の方法(Class method)	演習 ディスカッション、発表

■各回のテーマとその内容(Each theme and its contents)

回数(Num)	テーマ(Theme)	内容(Contents)	メディア区分(Media)
第1回	オリエンテーション	演習の概要 演習の進め方	□
第2回	研究テーマの再検討	専門演習Ⅰの振り返り 研究テーマの再検討 リサーチクエスチョン、仮説の再検討 検証方法の再検討	□
第3回	証拠・データの収集（1）	データの収集方法を検討する。 データを収集する。	□
第4回	証拠・データの収集（2）	データの収集方法を検討する。 データを収集する。	□
第5回	データの分析（1）	データ分析の手法を検討する。 データ分析を行う。	□
第6回	データの分析（２）	データ分析の手法を検討する。 データ分析を行う。	□
第7回	分析結果の考察（１）	分析結果を考察する。 分析結果から結論を引き出す。	□
第8回	分析結果の考察（２）	分析結果を考察する。 分析結果から結論を引き出す。	□
第9回	論文の作成（１）	データ収集・分析・考察を行う。 論点及び理論のフレームワークを検討する。 論文を執筆する。	□
第10回	論文の作成（２）	データ収集・分析・考察を行う。 論点及び理論のフレームワークを検討する。 論文を執筆する。	□
第11回	論文の作成（３）	データ収集・分析・考察を行う。 論点及び理論のフレームワークを検討する。 論文を執筆する。	□
第12回	論文の作成（４）	データ収集・分析・考察を行う。 論点及び理論のフレームワークを検討する。 論文を執筆する。	□
第13回	論文の中間発表（１）	プレゼンテーションの資料を作成する。 研究発表を行う。 質疑応答	□

第14回	論文の中間発表（２）	プレゼンテーションの資料を作成する。 研究発表を行う。 質疑応答	□
第15回	まとめ	演習のまとめ	□

■授業時間外学習（予習・復習）の内容(Preparation/review details)

企業や業界や経営課題などついて関心のあるテーマを調べておく。必要な論文・資料の収集、読み込み、整理などをする。（予習の2時間）
ゼミで提示された内容や収集した論文・資料の振り返りを行う。研究発表資料の作成を準備する。（復習の2時間）

■課題とフィードバックの方法(Assignments/feedback)

演習において研究方法、論文作成、研究発表等について適宜指導・助言を行う。

■授業の到達目標と評価基準(Course goals)

区分(Division)	DP区分(DP division)	内容(DP contents)
思考力・判断力・表現力	◆ 2021地域ビジネスDP2	研究内容についてPPT資料を作成し発表できる。
主体性	◆ 2021地域ビジネスDP3	論文の構成が理解できる。

■成績評価(Evaluation method)

筆記試験(Written exam)	実技試験(Practical exam)	レポート試験(Report exam)	授業内試験（in-class exam)	その他(Other)
			60%	40%

授業内試験等(具体的内容)(Specific contents)

研究成果（論文、データ収集）：60%研究発表・質疑応答：40%

■テキスト(Textbooks)

No.(No.)	テキスト名など(Text name)	ISBN(ISBN)
1	無し	
2		
3		
4		
5		

■参考図書(references books)

No.(No.)	テキスト名など(Text name)	ISBN(ISBN)
1	演習で適宜紹介する。	
2		
3		
4		
5		